

中期経営計画

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

2021年4月28日



目次

■ 前中期経営計画の振り返り	P.03
■ 2021～2023年度 中期経営計画	P.06
CTCグループ企業理念	P.07
新中期経営計画の3つの基本方針	P.10
CTCグループの新マテリアリティ（重要課題）	P.13
企業理念・マテリアリティ・中期経営計画がつながるひとつのストーリー	P.14
新中期経営計画 具体ストーリー	P.15
新中期経営計画 全体像	P.16
基本方針①	P.17
基本方針②	P.18
基本方針③	P.19
CTCグループ総合力	P.21
ESGの観点から見た中期経営計画	P.22
定量目標 2023年度	P.24
ステートメント	P.25

Opening New Horizons

新しい景色を見るために

		目標	実績
収益力強化	当社株主に帰属する 当期純利益	300 億円	305 億円
	クラウド・ITアウト ソーシングビジネス	600 億円	716 億円
	グローバル関連 ビジネス	600 億円	617 億円
資本効率向上	ROE	12 %以上	12.5 %

前中期経営計画の振り返り（定性）

重点テーマ		レビュー	
上に広げる	ビジネス変革への挑戦	● 重点顧客向けデジタルビジネスの進展 ● アジャイル開発、ローコード開発強化	○
前に伸ばす	強みをさらに強く	● 大規模インフラ、ネットワーク領域における強みの維持、拡大 ● クラウド等リカーリング型ビジネスモデルの伸長	◎
外に出る	新たな分野・リージョンの開拓	● インドネシア、マレーシア、アメリカでの投資実行 ● CVC活用による新事業の創出	◎
足元を固める	経営基盤の強化	● 働き方変革、健康経営、女性活躍の推進 ● コーポレート・ガバナンス体制の変更 ● 12期連続増配（予定）	◎

前中期経営計画「Opening New Horizons ～新しい景色を見るために～」は、
ある意味で“助走”期間だった。

強みの強化による収益力向上と、
ビジネス変革への挑戦を3年かけて遂行してきた。

これからの3年間は、提供する価値の視座を高め、価値領域を拡大する。

顧客に対する付加価値創出、顧客要件に対する最適なIT技術の提供。

そういったこれまでの活動は継続しつつ、
顧客のビジネスそのものを共にデザインし、
社会に新たな豊かさを創り出す領域へと進む。

2021～2023年度
中期経営計画

Beyond the Horizons

その先の未来へ

CTC

Challenging Tomorrow's Changes

Slogan

スローガン

Challenging Tomorrow's Changes

Mission

使命

明日を変えるITの可能性に挑み、
夢のある豊かな社会の実現に貢献する。

Values

価値観

変化への挑戦

価値への挑戦

明日への挑戦

Action Guidelines

私たちの心得

常に新しいことに取り組み、
決して諦めずに臨んでいるか？

お客様が期待する以上の価値を、
生み出しているか？

自由な発想で、
よりよい明日の姿を描いているか？

CTCグループ企業理念：Missionについて

Mission 使命

明日を変えるITの可能性に挑み、
夢のある豊かな社会の実現に貢献する。

Missionの読み解き

明日を変えるITの可能性に挑み

目的達成のために常にやり続けていること

What / How



夢のある豊かな社会の実現に貢献する

究極の目的であり、存在意義

Why



CTCは、明日を変えるITの可能性を信じ、挑み続けてきました。

そんな私たちが存在意義を発揮し、究極の目的に向かうため、
今、何にどう取り組むべきか。

Beyond the Horizons

その先の未来へ

Accelerate

これからの豊かさを創る

顧客の変革を支える
新たな取り組みを加速

Expand

今の豊かさを広げる

強い領域における
さらなる探究と市場拡大

Upgrade

実現可能性を高める

未来を捉えた
自己変革の実践

今回、同じく2021年4月に
CTCグループのマテリアリティ（重要課題）を特定し直しました。

新しい中期経営計画はCTCの道標として、企業理念はもちろん、
新マテリアリティとも強い結びつきをもって策定しました。

マテリアリティの位置づけ

社会的課題

CTCグループのマテリアリティは、
社会的課題に直接的・間接的に結びつく、
長期にわたり取り組む課題です。

つまり当社のあらゆる企業活動の目的は、
本質的にすべて社会的成果に帰結します。

社会的成果

マテリアリティ
(長期にわたり取り組む重要課題)

CTC
Challenging Tomorrow's Changes

CTCの企業活動

CTCグループの新マテリアリティ（重要課題）

当社が社会の一員として責任を果たしていくため、
我々の事業領域であるITの恩恵をより多くの人が
受けられるよう配慮しなければなりません。

また、今のあらゆる行動は未来に
つながっていると自覚し、未来を犠牲
にせず貢献していくという心構えで
持続的ビジネスの成長を目指し、
その方針のもとに未来に貢献できる
人材の育成を行っていきます。

ITを通じた社会課題の解決

先進技術のたゆまぬ追求
様々なパートナーとのビジネス共創の推進
安心で安全なITサービスの提供

さらには、自社の利益のみを追求
するのではなく、多様なステーク
ホルダーを尊重し、透明性の確保や
ガバナンスの高度化に取り組むこと
も重要だと考えています。

明日を支える人材の創出

多様なプロフェッショナルの育成
互いを尊重し高めあえる風土の醸成
未来を創る人材教育への貢献



責任ある企業活動の実行

実効性あるガバナンスの強化
気候変動対応への貢献
一人ひとりの責任ある行動の実践

企業理念・マテリアリティ・中期経営計画がつながるひとつのストーリー

ターゲットとしている期間がマテリアリティは10年、中期経営計画は3年と違いはあるものの、いずれも社会の一員としてのCTCグループの永続的な存在意義であり目的である企業理念に向かうものです。

存在意義・
究極の目的

夢のある豊かな社会の実現

社会との
接点としての事業

Expand
今の豊かさを広げる
強い領域における
さらなる探究と市場拡大

ITを通じた
社会課題の解決

Accelerate
これからの豊かさを創る
顧客の変革を支える
新たな取り組みを加速

挑戦するための
土台

明日を支える
人材の創出

Upgrade
実現可能性を高める
未来を捉えた
自己変革の実践

責任ある
企業活動の実行



新中期経営計画 具体ストーリー

新中期経営計画 全体像



基本方針①

Accelerate

これからの豊かさを創る

顧客の変革を支える
新たな取り組みを加速

重点シナリオ

顧客業務、
顧客事業、そして
生活者の日常のDX



コミュニティ形成と
共創ビジネス拡大



高付加価値サービス、
先進技術の提供



基本方針②

Expand

今の豊かさを広げる

強い領域における
さらなる探究と市場拡大

重点シナリオ

“つくる”を土台にした
5Gビジネスの拡大



XaaSビジネスの強化



国内ビジネスモデルの
グローバル展開



基本方針③

Upgrade

実現可能性を高める

未来を捉えた自己変革の実践

重点シナリオ

個の成長と適材適所を
組み合わせた
総合力強化



環境変化に順応する
経営基盤変革

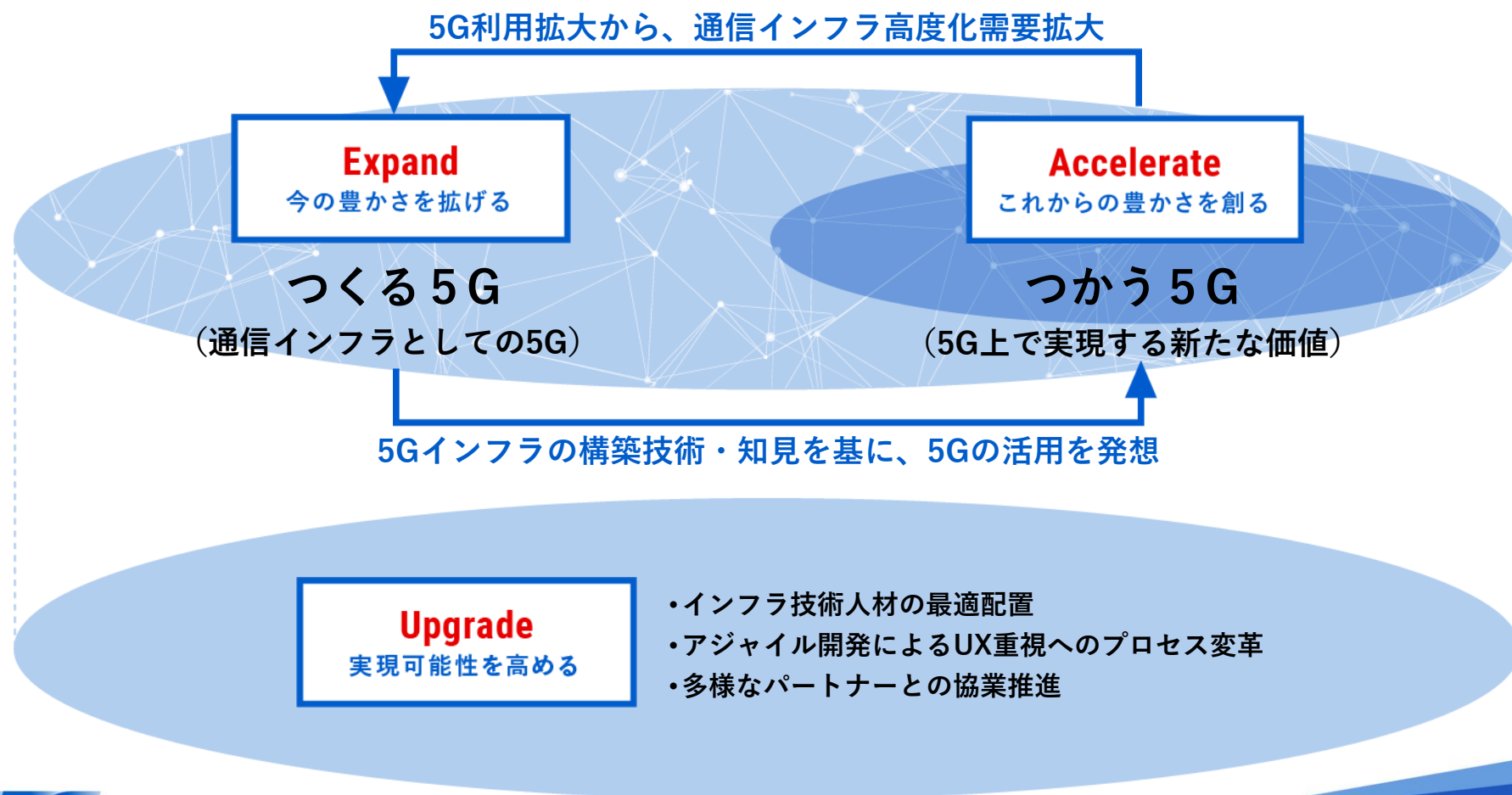


多様な
ステークホルダー
との共存



例えば5G関連ビジネスの場合

ひと・もの・情報がシームレスにつながる社会



CTCグループ総合力

新たに創出する価値を、グループ総合力で社会に広げる

Accelerate

Expand

Accelerate

CTC本社の
機能強化

全社横断 DXビジネス推進部署の新設

&

パートナー連携強化

新たな価値創出

市場拡大

CTCグループ

海外拠点

北米、ASEAN(マレーシア/
シンガポール/タイ/
インドネシア)

国内グループ各社

ITライフサイクル
全体をカバー

運用/保守
(データセンター)

導入/移行

開発/構築

調達

企画/設計

ビジネス
戦略

領域高度化

アライアンス
戦略

戦略パートナー

- ・技術パートナー
- ・アカデミックパートナー
- ・伊藤忠商事／伊藤忠グループ
- ・etc.

Expand

ESGの観点から見た中期経営計画

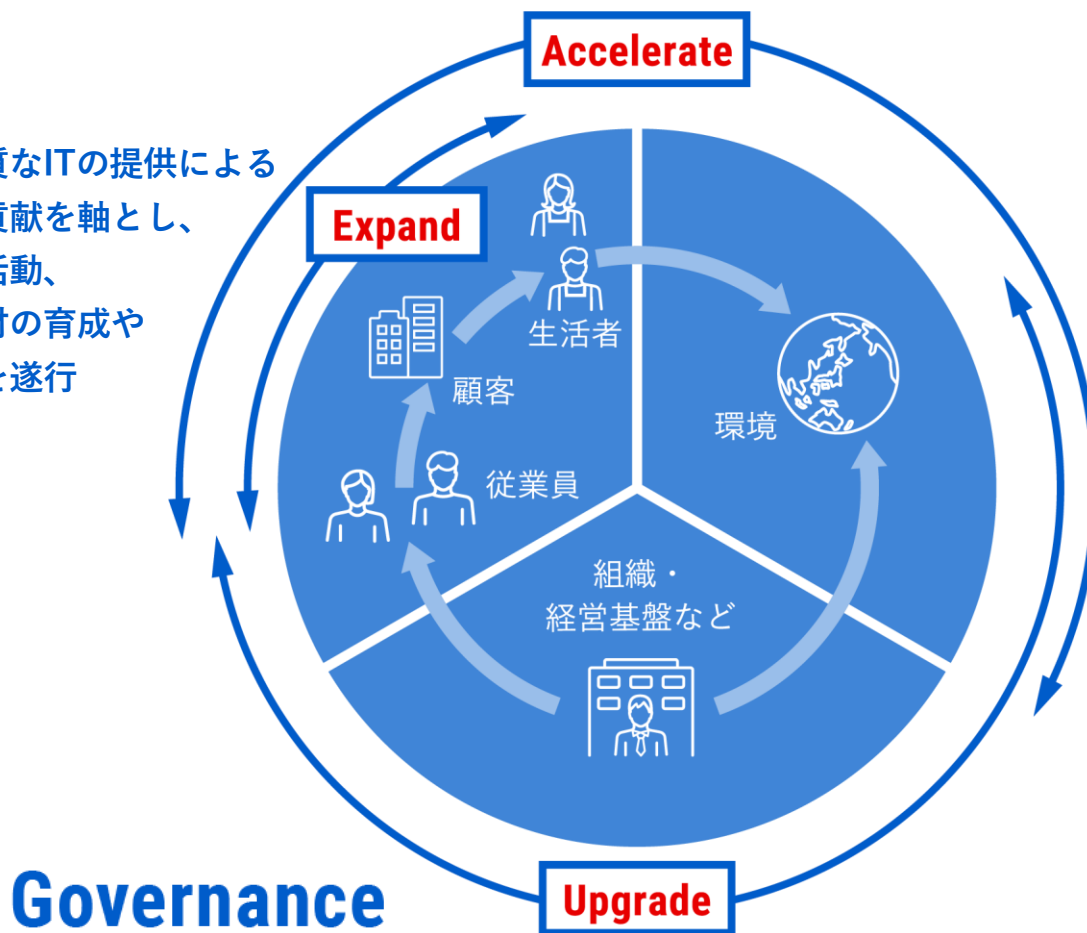
企業理念に掲げる「夢のある豊かな社会の実現」を目指すための中期経営計画は、未来を犠牲にせず、未来を創るための一歩一歩となるものです。

Social

安心・安全で高品質なITの提供による顧客や生活者への貢献を軸とし、地域社会への貢献活動、従業員を含めた人材の育成や働き方の変革などを遂行

Environment

環境に配慮したITの提供による貢献と、CTCグループ自身の事業活動における環境負荷軽減



Governance

意思決定の透明性を確保するコーポレート・ガバナンス体制を始め、リスクマネジメント、コンプライアンス、情報セキュリティについてもCTCグループの重要課題と捉え、さらなる高度化を推進

サステナビリティへの取り組み事例

明日を変えるITの可能性に挑む人材を、社会全体に増やす

ITはもはやIT業界だけのものではなく、水や電気と同じく社会のベースに位置しています。

そしてITには未来をつくる可能性があると信じています。

このITに携わっているCTCが当然やるべきこと。それは当社内で活躍するIT人材を育成することはもちろん、社会全体でITの可能性に挑み活躍する人材の創出を支援をすることだと考えています。

これは、いち企業の課題を社会全体の課題とむすびつける、CTCならではの取り組みと言えます。

社内におけるエンジニア人材の
育成・評価方法アップグレード



CTC社内の人材活躍支援

ITノウハウを活用した、
社会で活躍する人材育成

CTC
未来財団



未来実現
IT教室
Children's Technology Challenge

社会全体のIT活躍人材増大

IT業界以外にも
“IT的思考のわかる人材”が増え、
共創が生まれやすい社会に

顧客、社会に対する価値領域を拡大し、
収益力と資本効率の更なる向上を目指す

	2020年度 実績		2023年度 目標
営業利益率	9.1 %		10 %
当社株主に帰属する 当期純利益	305 億円	▶	400 億円
ROE	12.5 %		13 %以上

私たちは、商社の名を冠したIT企業として
世界中に目を向けて技術を発掘し、
そのたびに技を磨き創意工夫をし、
最適解をコーディネートしてきた。
もはやITが社会やビジネスと同レベルで
語られて久しい世の中で、
夢のある豊かな社会の実現に向けた
さらなる跳躍的チャレンジが始まる。



Beyond the Horizons

▀ その先の未来へ

CTC

▀ *Challenging Tomorrow's Changes*